



あかね文庫お話しのおひさまだより



絵本アンケート

“図書室の方にききました”

☀ 『長くつ靴下のピッピ』
小学生の頃、我が家は大家族でした。1つ屋根の下に私の家族8人と、父の姉家族6人が間借りしていて、一緒に暮らしていました。

子供だけで6人もいたので、いつもにぎやかでした。缶けり、ゴム飛び、おにごっこ、めんこや陣取りゲーム、お姫様ごっこで遊んだり、兄弟げんかなど毎日大忙しでした。そんな時に図書館でピッピに出会い、衝撃を受けました。「女の子が一人で生きていけるの?!」いつも大勢で行動していた私には想像を遥かに超えたものでしたが、そのたくましさとユーモアに憧れ、大好きな女の子になりました。今の私があるのはピッピのお陰かも?



ほんの紹介

『長くつ下のピッピ』
アストリッド・リンドグレン/著 桜井 誠/訳
岩波書店』

この度は少し大きい子向きの本の紹介です。

ピッピは学校へも行かず、ごたごた荘で一人暮らしをしているたくましい女の子です。サルと馬を飼い、世界一強くて怖いものなし。ピッピは空想好きで、さまざまな事件をまきおこし、子どもならやってみようなことを痛快にやってのけます。でもその心はとてもやさしいのです。子どもたちのあこがれの女の子なのもうなずけます。映画にもなったので知っている人もいでしょう。子ども時代の喜び、楽しさ、心のひだなどがいきいきとユーモアたっぷりに描かれ、世界中の子どもたちに愛されている物語です。

小さなおともだち

オセロはまかせろ!

ある日、Mちゃんとお母さんが厚紙でオセロのコマ作りをしていました。いつもは絵本と一緒に楽しんでいるMちゃんですが、今日はオセロを自分で作るので「絵本はいいです」とのこと。私たちもお手伝いすることにしました。厚紙に○を書く人、○をハサミで切る人、切った○を黒く塗る人に分かれて作りました。最後にひまわり学級の先生からいただいた方眼紙で、オセロ盤を作って出来上がりました。Mちゃんもお母さんも私たちもうれしくて大喜びしました。さっそくMちゃんとお母さんと勝負して、41対23でMちゃんの勝ち!

でも私たちはまだMちゃんとお母さんとお母さんと対戦していません。今度いっしょに遊んでね。